

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、10～19℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の60%（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり182kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.9トンの水揚げで、前週の73%（前年を下回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり48kgの水揚げで、前週の24%（前年並み）。
- 定置網――五島魚目地区では、スルメイカなどが1日1統当たり411kgの水揚げ。対馬西岸地区では、アオリイカなどが1日1統当たり203kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり167kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり115kgの水揚げで、前週の7倍（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/27～3/3の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び隠岐諸島周辺～能登半島沖～佐渡沖～酒田沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）1日延3隻、総計150箱、1航海最高150箱、平均50箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入り。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-7号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果・第3-8号 長崎県周辺海域の海面水温（3月号）」を公表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>